



「美瑛の丘陵地」

美瑛の丘陵地は100～200万年前（十勝岳連峰が生まれる前）に噴火が起きて大量の噴石と火山灰が土石流となって流れ、美瑛から富良野一帯を厚く覆った結果、なだらかな丘になったようです。

また、自然と人間が共存しつつ、畑では連作を避け豊富な種類の作物を植えた為にパッチワークに見えるとされています。

今回は懐かしい信州の山系を彷彿させる十勝岳連峰を背に美瑛丘陵地の早春の農作業風景を水彩で描いてみました。

(63期 沓掛高夫さん)

第4回定期総会の報告

第4回定期総会は2018年5月19日（土）12時10分から札幌市内のホテルマイステイズ札幌アспенで開催され、11名の会員が参加しました。

総会では2017年度の活動および収支決算が報告され、2018年度の活動計画および収支予算がそれぞれ承認されました。

総会終了後の記念講演は59期の矢嶋俊彦さんが長年研究されてきた「歯」について話され、引き続き懇親会では参加者から近況が報告され校歌斉唱で終了しました。

同窓会本部の金子理事長の祝辞

拝啓 若葉の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

上田高校は351名の新生を迎え、4月5日の入学式ではそれを喜ぶかのように桜の花が満開でした。

2020年、上田高校は創立120周年を迎えます。学校、PTA、同窓会は記念事業実行委員会を設立し、120周年に相応しい行事、学校・生徒等への貢献などを検討し創立記念を盛り上げていきたいと考えています。北海道の同窓生の皆様にもご協力を賜りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、このたびは北海道同窓会の総会開催の由、心よりお祝い申し上げます。総会が盛大に開催されますことは役員の皆様のご尽力と会員の皆様の日頃のご努力のたまものであると心より敬服いたしております。

今後ますますの貴同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

※同窓会本部からはこの祝辞とご祝儀3万円（雑収入）をいただいております。

2017年度活動報告

地区交流会の中止は残念でしたが、他の恒例行事は会員の皆様のご協力を得て計画通り実施することが出来ました。以下、項目ごとに報告します。

1. 会員の現況

44名で足足しましたが、期中の逝去による減少1名で、期末現在の会員数は43名です。しかし、住所不明となっている会員が3名います。

2. 会議の開催

(1) 第3回定期総会

2017年5月20日（土）に札幌市内のホテルマイステイズ札幌アспенで開催。

会員14名が出席。

(2) 役員会

第1回 2017年5月16日（火）開催。定期総会議案、母校社会講座講師推薦等協議。

第2回 2017年7月4日（火）開催。役員役割分担、地区交流会の開催、会報第5号の発行を協議。

第3回 2017年9月26日（火）開催。観楓会の開催を協議。

第4回 2018年1月29日（月）開催。役員役割分担の見直し、会報第6号の発行を協議。

第5回 2018年3月30日（金）開催。第4回定期総会の開催、2018年度活動計画等協議。

<2017年度収支決算書>

科 目	予算額	決算額
I 収入の部		
1 前年度繰越金	64,437	64,437
2 年会費	26,000	22,000
3 総会会費	56,000	52,000
4 雑収入	30,000	30,000
収入合計	176,437	168,437
II 支出の部		
1 総会経費	80,000	73,200
2 会報発行経費	10,000	0
3 郵送代	30,000	22,357
4 予備費	56,437	12,515
支出合計	176,437	108,072
III 当期収支残額 (翌年度繰越金)	0	60,365

(注) 年会費の前払い分を除くと、正味の当期収支残額は53,365円となります。

3. 決算監査

2018年5月1日に実施し、福田監事より適正に処理されている旨の報告書をいただきました。

4. 地区交流会

道南の大沼公園で、2017年9月30日～10月1日に開催を予定しましたが参加者が少なく中止。

5. 観楓会

2017年11月16日（木）に、札幌市内のイタリアンレストラン「ダイニング・イル・ネージュ」で開催し、六文銭の旗の下に16名が参加しました。

6. 会報の発行

第5号 2017年9月1日発行。

第6号 2018年3月7日発行。

<2018年度 収支予算案>

科 目	前年度実績	予算額
I 収入の部		
1 前年度繰越金	64,437	60,365
2 年会費	22,000	26,000
3 総会会費	52,000	40,000
4 雑収入	30,000	30,000
収入合計	168,437	156,365
II 支出の部		
1 総会経費	73,200	65,000
2 会報発行経費	0	10,000
3 郵送代	22,357	30,000
4 予備費	12,515	51,365
支出合計	108,072	156,365
III 当期収支残額	60,365	0

(注) 学生、80歳以上、前払者を除く本年度年会費被徴収者26名。

2018年度活動計画

- (1) 第4回定期総会の開催 5月19日（土）
札幌市 ホテルマイステイズ札幌アспен
- (2) 地区交流会の開催 9月 旭川地区で開催
- (3) 観楓会の開催 11月
- (4) 会報の発行 年2回（夏、冬）



後列左より北澤（73期）、中村（65期）、杉山（66期）、矢嶋崇（67期）、杳掛（63期）
前列左より平尾（51期）、清澤（64期）、菅沼（48期）、中曾根（51期）、矢嶋俊（59期）、大谷（65期）

第4回定期総会記念講演『歯を大切にしましょう』（要約版）

59期 矢嶋俊彦さん



- ・出身地 上田市上丸子
- ・1961年 上田高校卒業
- ・1969年 新潟大学大学院理学研究科修了 新潟大学歯学部 助手
- ・1976年～1979年 米国テキサス大学歯学部 講師
- ・1982年 東日本学園大学（現北海道医療大学）歯学部 教授
- ・2008年 名誉教授

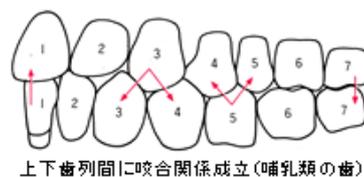
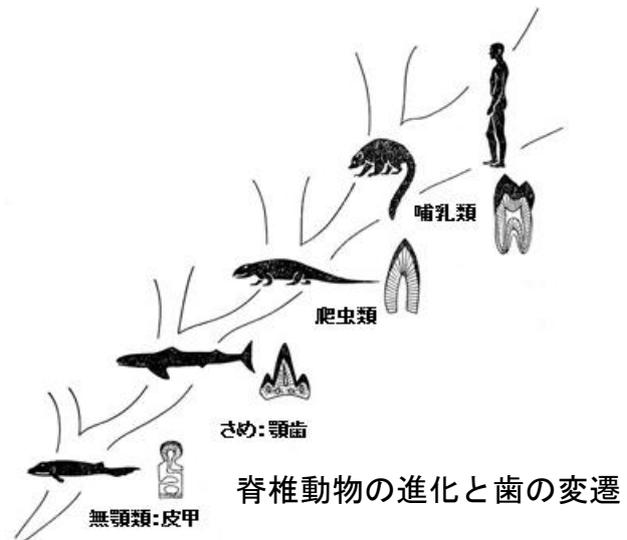
私は新潟大学理学部大学院を卒業する時にちょうど歯学部が新設され、助手になりました。歯に関係することを研究・教育してきましたので今日は歯について話をします。

歯の漢字は口の中の「は」を描いた象形文字です。歯の起源は鮫の皮歯（楯鱗）です。皮歯は象牙質、エナメル質と骨様構造を持ち、口腔内に移動し歯となったものと考えられています。脊椎動物は原則として歯を持ちますが、例外として歯を持たない動物もいて、これは二次的に歯が退化したと考えられています。両生類のヒキガエル、爬虫類の亀類、鳥類、哺乳類のカモノハシ、大アリクイなどです。

哺乳類の歯の定義は、①象牙質を有する、②顎骨だけに釘植（植立）している、③咀嚼機能がある、です。爬虫類以下の下等な脊椎動物の歯は食物を捕えて逃がさないようにするためのもの（捕食歯）で噛み砕いたりするためのものではありません。多生歯性で、欠けたりして機能なくなると次の歯が出てきて損傷した歯を補うようになっています。これは孵化直後から自活しなければならないことから完全な機能歯が必要なためと考えられています。

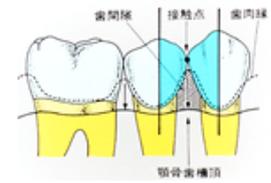
一方、哺乳類は哺乳期がありますので、一生歯性または二生歯性で1回か2回しか生えてきませんし、食べる物によって歯の形も変わってきました。人間の場合はまず乳歯が上下10本ずつ20本生えてきて、その後永久歯が28本生えてきます。更に、親知らずの生える方は32本になるわけです。親知らずの生えてくる人は約4割ほどいて、その中でも4本生えてくる人は約16%ほどです。普通の人（約6割）は親知らずは生えてこないで永久歯28本が標準になります。

歯の対向関係は、下顎中切歯と上顎最後臼歯は1歯対1歯の対向関係にありますが、これ以外の歯は原則として1歯対2歯の咬合関係にあります。また、隣在歯の関係では、隣の歯同士が接する接触点を中心に両側の



上下歯列間に咬合関係成立(哺乳類の歯)

歯の対向関係



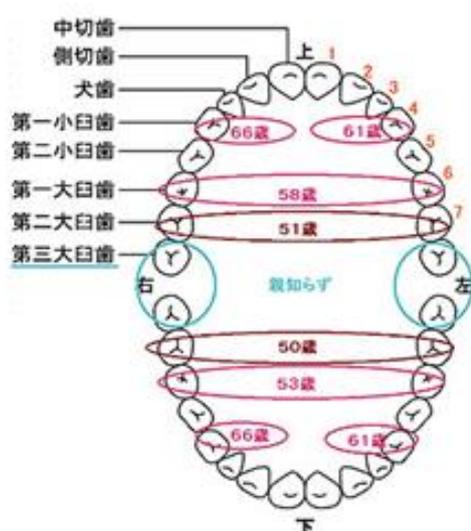
隣在歯間の関係 I～対称性が高い

隣在歯の関係

歯の半分ずつは左右対称形になっています。また、接触点の下の部分（歯間隙）は歯肉（歯間乳頭）で満たされています。しかし、歯周病等により歯肉が退縮すると歯間隙がみられ、食塊・食片（食べカス）などが溜まる原因になります。それから咬合面から見たときには、歯間鼓形空隙となっており左右対称形になっています。接触点は咬合関係を正しく維持し、咬合圧を分散させ、食べカスの圧入防止機能を持っています。

それからもう一つ大切なのは歯冠の豊隆と歯肉の関係です。歯冠の豊隆形態が歯周組織と適合していると、食べカスなどがきれいに流れていき、歯肉への適度な刺激と歯冠部の自浄作用が上手くいきます。しかし、豊隆が大きすぎると歯肉への適度な刺激がなく、自浄作用が低下して歯頸部に食べカスが溜まってしまいます。反対に小さすぎると歯肉の損傷や自浄作用の低下が起こり、歯肉溝に食べカスが溜まってしまう原因になります。それから歯は上下がうまく咬合して力が入って堅いものでも食べれるように、歯列弓は前後・側方に湾曲し曲線を描きます。また、歯根は顎骨に釘を打ち込んだように入り込んで、歯根膜で強固に固定されています（釘植）。そして、私たちは呼吸をしながら食べることが出来ます。それは哺乳類では鼻腔と口腔が分かれているので咀嚼が可能となりました。しかし、下等な動物は口腔と鼻腔が分かれていますので、口に入った食べ物を噛まないで呑み込むこととなります。

歯の平均寿命



我々日本人の平均寿命は年々延びて、2016年度では女性87.14歳、男性80.98歳となっており、世界のトップクラスです。では、我々の歯の寿命はご存知でしょうか。平均寿命の長い歯（下顎の犬歯）で約66年、短い歯（下顎の第2大臼歯）では約50年です。平均寿命や健康寿命よりはるかに短いのです。皆様は如何でしょうか。人の歯は年齢と共に生え、また抜け落ちますので、昔から寿命と関係深いものと考えられてきました。歯を失う一番の原因は歯周病です。子どもの時はむし歯ですが、歳をとってからは歯周病で失う人が多いのです。歯周病になり易い原因は歯の発生にあります。爪や毛は皮膚の上皮が変化したものですので、上皮との連続性が

永久歯を失う原因



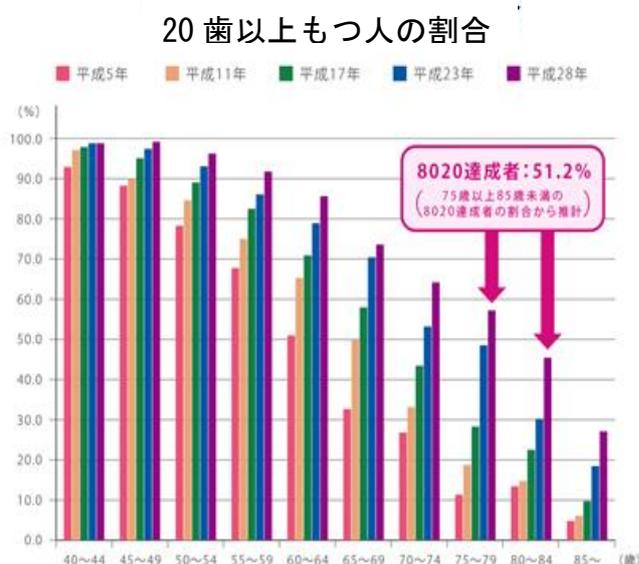
維持されています。しかし、歯は口腔上皮とその下の間葉組織の相互作用により歯胚（歯の原基）を形成します。上皮は落ち込んで、エナメル質を形成しますが、これ以外の歯の組織は間葉組織から形成されます。歯が形成され、萌出する時点では上皮由来のエナメル芽細胞などは変性・消失し、口腔上皮を突き破って出てくるわけですが、歯は生体唯一の上皮不連続部となっていて、そこに食べカスなどが溜まると炎症を起こして歯周疾患を起こすわけですが。歯周病のある人の割合は近年増える傾向にあります。歯周病と全身疾患の関係が明らかにされてきています。

何でも噛んで食べられる人は自分の歯が20本以上ある人であり、それ以下の人は噛む力が弱いと言えます。そこで日本歯科医師会や厚生省などが、80歳になっても自分の機能する歯を20本以上保とうという「8020運動」(ハチマルニマル運動)を推進しています。最近になってようやく8020運動の達成者が半数を超えたと推計されています。

噛むことには8つの大きな効用(次ページ図)がある一方で、歯が失われるとよく噛めずに食べる物が限られ、栄養状態が悪化し、身体・精神機能の低下、ひいては生命・生活の質の低下をもたらすといった悪循環に陥ります。また、歯周病によって造られる炎症物質が血液の中に入ることによって動脈硬化や糖尿病、肺炎などに関係します。また、最近は良く噛むことによって脳血流が良くなり、記憶に関係する海馬の働き

を良くすることが明らかになり、噛むことは非常に大切です。歯磨きはさすがに普及していて磨かない人はほんの僅かですが、問題は歯の検診・クリーニングを定期的にするかどうかなんです。その受診率(2%)は欧米(80~90%)に比べて極端に低い状況です。歯の微妙な凸凹部分などは自分できれいにするのはなかなか難しく、やはり定期的に診て治療してもらうのが大切といえます。

人類が進化し新人(ホモ・サピエンス)になると火を使うようになり、食べ物を火によって柔らかくしてしっかり噛まなくてもよい食事のため、咀嚼器官が退化してきました。逆に言うと、顔面頭蓋が縮小・退化して脳頭蓋を拡大し、脳を発達させてきたとも言えます。新人の特徴として「オトガイ隆起の形成」があります。オトガイ(頤)は下顎骨をさす言葉ですが、歯と下顎骨歯槽部が退化して下顎骨の先端が隆起したもので、硬いものを食べていた類人猿には存在しない新人の特徴です。新人の2つ目の特徴は「犬歯窩の発達」です。人の上顎骨前面の歯槽上部と眼窩下縁の間にある浅いくぼみで、咀嚼器官の退化(上顎犬歯の歯根退化)により上顎骨体が縮小するために出来ると言われています。また、3つ目の特徴は「眼窩上隆起の退化」です。類人猿では、側頭筋等の咀嚼筋が強力ですので、作用時に頭蓋がつぶれないように目の上の骨が隆起して保護作用していました。咀嚼機能が弱くなった現代人は眉間部分に残存しているだけです。



咀嚼機能の退化（咀嚼回数と食事時間の短縮）に伴って人の顔形が変化してきました。縄文人は丈夫な顎の幅広い顔立ちでしたが、現代人は下顎が細くスマートな顔に見えます。柔らかいものを食べる食生活が続くと、未来の日本人はさらに顔が細くなり図のように下顎がさらに小さくなると予測されています。しかし、不正咬合等が起こる危険性が心配されます。

歯は一度失われますと再生しませんし、虫歯・歯周病の自然治癒はありません。ですから、歯を大切に、適切な処置や治療を受けて、自分の歯で食事が楽しめる人生であってほしいと思います。それは各自の心がけと配慮で可能です。「8020」を達成した人の割合が1993年では約10%程度でしたが、2016年には、51.2%に増加しています。しかし、残存歯数ではまだ世界の下位なのです。



咀嚼することの大切さ



られています。このように、歯はあらゆる面で人生と深い関係にあります。質の高い、活力ある、健康で長寿の人生を過ごすには、「よく噛める歯」を持ち、健口寿命を高めることは健康寿命を高めることとなります。歯を大切に豊かな自然の幸を味わい、生き生きとした健康生活を楽しみましょう。（了）

《 総会出席者からの近況報告 》

（報告順で敬称略）

清澤通俊（64期） とうとう70歳の坂に迫り着きました。身体的には視力が落ちたとか、忘れっぽくなったとか、トイレが近くなったとか、加齢に基づく歳相応の変化はありますが、69歳の昨日と70歳の今日でそれほどの違いは感じていません。

しかし、精神的には70歳を超えるということは長いしんどい坂を上りきった感慨があり、60歳に足を踏み入れた時とは違い、ここから先は今までの延長線上では無いと強く感じています。

週二日程度の森林のボランティア活動と野菜作りの真似事やゴルフで身体を動かすことに相変わらず努めており、出来るだけ二歩三歩前を見る生活をしていこうと思っているこの頃です。

北澤多喜雄 (73期) 私も60歳になった時はそれなりの感慨があったのですが、3月に61歳になった時には60歳ほどの新鮮な感動は無く過ぎてしまいました。大学は65歳までですからあと3年10ヶ月というカウントダウンが始まっている訳ですが、もう少し頑張っただ面倒をみている大学院生たちに学位論文を取らせないといけないんだと思っているところです。

最近思うのは、大学ではいろいろやらなければならないシビアなことが多いのですが、そういう機会が与えられていることを大事にして喜びを感じてやっていきたいと考えています。「見方を変えれば味方になる」という言葉ではありませんが、自分が大変なこともいずれは自分にプラスになって戻ってくると思っています。

うちの大学は米国の大学と学術交流をやっていて、その一環で今年も5名の女子学生のホームステイを受け入れることになったのですが、受け入れ先を募ったところ4名分しか集まらず、結局、私も来週の金、土、日の3日間面倒をみることになりました。60歳を越えて脳の神経細胞が少し減ったためではないと思いますが、そんな大変なこともポジティブに受けとめられるようになった気がします。

沓掛高夫 (63期) 会報に載った私の絵を上手だと言われて吃驚しています。高校生の時は絵を描くのが苦手で、当時の林先生からこっぴどく指導されたいやな思い出しかありません。そんな私が今は週2回、駒岡の保養センターの絵画教室に行くのを常としています。この70の手習いで始めた絵は、年2回、芸術の森で展示されています。指導する先生は本来彫刻家ですが、非常にユニークな楽しい方ですから、絵に興味のある方は是非お出てください。多分、市内では最も安い絵画教室だと思います。

平尾三郎 (51期) 84歳になりました。60歳とか70歳だとかはまだまだ若造ですよ。一昨日、大学の自然保護研究会の学生と酒を飲みました。彼らは将来どうなるんだろうかということに思い悩んでいると痛切に感じました。私も会報に書かせていただいたのですが、そうゆう五里霧中の中で大学に来て、卒業のために強制的に訳のわからないことを詰め込まれる、そんなことを平気でやっている教師がいる大学がたくさんあります。

そんな問題の一端を会報に書きましたが、今日来て中途半端な文章だとお叱りを受けました。実は私ももっと言いたいことはあったのです。私の言いたかったことは、これまでの大学のイメージを変えなければダメだということです。しからばどのように変えるか。今までのように大学が一方的にカリキュラムを組んで、教師は自分が学んできたことをそのまま話して終わる大学ではなくて、教師が目の前にいる学生の期待や疑問に応えられる大学、一方通行の大学教育ではなく、学生の自主的な活動を教師の適切な指導の下に伸ばしていくような大学教育が望まれると考えています。会報ではこんな問題提起をして、それではどうすれば良いかということに次に書かなければいけないのですが、チャンスをいただければ続きを書いて読んでいただきたいと思います。

中曽根公 (51期) 大学時代、私は柔道部に所属していましたが昔の部は必ず寮に部室をもっていました。柔道部とかボート部などの運動部は入寮者を決定する委員会に必ず人を入れていたために、志望を柔道とかボート

とか空手と書けば大体は寮に入れた訳です。上田松尾高校の後輩も何人か柔道部に入ってきて、寮にもたくさんの上田松尾同窓生がいました。

寮に入れば非常に安く済みます。当時の授業料は確か年間 1,200 円だったと思いますが、それを 3,600 円に上げるというので皆で反対した訳です。私にとっては最初で最後だと思いましたが、その行列に加わったことがあります。寮生は概ね金の無い連中だったので、10 円単位の貸し借りの話が出てくるような時代でした。

当時を振り返ってみると私はあまり勉強しない方で、渋谷のガード下辺りで酒を飲んでいたことが多かったのですが、寮の連中はガード下で飲んで、歩いて寮に帰ってくるような生活をしていました。

矢島崇 (67 期) 北大を退職してから丸 2 年経ったところですが、後輩の連中や卒業生などに「先生、今なにされているんですか」と聞かれるのが今一番辛いことです。何もしていないで、毎日どうやって遊ぼうか一生懸命考えています。1 つは山歩きです。近い処でどこでもいいんですが、頂上には全く拘りが無いので半日と決めたら半日の行程で行って戻ってくるといっただらしない山登りです。

2 つ目の遊びは釣りです。30 代くらいに覚えて、ずっと続けているのはフライフィッシングというので、自分の妄想を毛針という形にして魚を誘惑するという遊びです。毛針は当然自分で作りますが、最近は手元が震えるは細かいところが見えないはでピンチなんです、何とかハズキルーペを掛けて作っています。これからがシーズンに入っていくところです。

3 つ目の遊びはコンサドーレ札幌の応援です。札幌ドームや厚別競技場のホームの試合は雨に濡れようが寒かろうが意地で応援を続けています。この 3 つを組み合わせると結構忙しく楽しく遊んでいるんですが、冬場が何も無くて辛い。従って、何もしていない冬が開けた今頃に山に行くのが身体的に大変辛い。まあ、そんな感じでぼつぼつと暮らしています。

中村今朝良 (65 期) 私は 3 年前から歩くスキーをやっています。まだ初心者なのでスキー板の裏側に滑り止めのウロコが付いているので滑っています。2 月の札幌国際クロスカントリースキー大会の 15km に出たんですが、クロスカントリー用のスキーを履いている人達はどんどん先に行くのですが、私のようなウロコの付いたスキーではようやくゴールしたという感じでしたが、スキーも楽しんでいます。

6 月初めの千歳日航マラソン大会に出ています。そこで吃驚したのは 90 歳の人がハーフ 21km を 3 時間半ぐらいで走っていたんです。自分もそこまでいけたらと思っています。この前、苫小牧のノザンホースパークでマラソン大会があって、2 種目あるんですが、一つは馬が走る 7km のコースを走るもので、下は砂と草と敷き詰めたチップなので 7km ですが足に相当負荷が掛かってようやく走りきりました。その後、直ぐにハーフ 21km を走るようになりました。最後の方になってくると気持ちは前に行こうとするのですが足が動かないんですね。止まったら終わりだと思って自分に鞭打って走りました。今年の目標は北海道マラソンに出ることです。

杉山孝治 (66 期) この中では数少ない給与生活者を維持しています。現在のところは頭も体も元気でやっております。請われて仕事が続けられるのは幸いかと思い、70 歳までは何とか勤めたいと思っています。

歯の話がでしたが、私は 50 回ほど噛むようにしています。かつて消化器系の病気をした折によく噛みなさいと指導され、以来努めて噛むようにしています。わたしより遅い食事をする方を見たことがありません。結果的に健康にも頭の働きにも良いのかと勝手に思っています。

あと健康維持のためにやっているのが山歩きです。藻岩山とか三角山とか、3 時間ぐらいで行けるところに

天気を観て登っています。

今日は珍しいものを持ってきました。このボールは1987年の思い出の品です。この年に第2回目の甲子園出場という上田高校のビックイベントがありました。第1回は1957年で、30年周期を考えると2017年の昨年、実は行くはずでしたが残念でした。1987年はちょうど上田に勤務していて、千曲バスに乗って甲子園まで行きました。試合は残念ながら負けましたが、上田高校のOBとして貴重な、楽しい経験をしました。

菅沼英二 (48期) 私が北海道に来たのは1971年で大学紛争の真っ最中でした。酪農学園の学生は非常に愛校心が強くて大学の設備を一切傷つけることはありませんでしたが、警察が入り数名が連れていかれました。その夜になって学生を引き取りに来てほしいと警察から連絡が入り、私が引き取りにいきました。警察で誰に来てほしいか学生に聞いたところ私の名前が出たということでした。後にこの同窓会に出て判ったことですが、その時の江別警察署長が上田高校先輩の櫻井さん(43期)でした。それ以来、同窓会には努めて出ようと考えています。

大学紛争が一段落した後、大学では国際交流の仕事を担当しました。当時の理事長が学生に新しい希望を持たせようということで1973年に始めたんですが、大学を定年退職した後も長くそれに携わりました。理事長が亡くなって私もそこを辞めたんですが、今度は江別市の方で来てくれということになり、国際交流推進協議会と都市提携委員会の両方を掛け持ちで87歳まで現役でやってきました。今年、ようやく全てを後任に託して辞めることになりました。これからは残された仕事をやっていきたいと思っています。

大谷文昭 (65期) 生来の不摂生が高じて医者から非常に脈拍も乱れていると注意を受け、1日の心臓の状況を測ってかつ行動を詳細に書けと言われており、1週間後に判断されることになっています。しかし不味いことにその時に貰った薬を飲むと調子が悪くなるんです。どうしたものかと悩んでいるんですが、いずれにしても今年の目標は“痩せること”に専念したいと思っています。

矢嶋俊彦 (59期) 私が北海道医療大学に来て、学生の中に亡くなった高校先輩の池田さんの息子さんがいて、いろいろ話していたら同窓だということが判って同窓会に出るコンタクトができたという訳です。池田さんは、最後は札幌中央保健所長だったのですが、盆暮れは大変だったという話も聞いています。ただ貰っているだけではダメで、これは貰っていい、これは返せという判断が大変だったそうです。われわれも色々と便宜を図ってもらった覚えがあります。

また、先ほど大学が厳しいという話が出ましたが、教授にもよりますが私が助手になった時は講座がオープンで、学生は好きなことをやっていました。確かに医療系だと国家試験があるので先生は授業をしなければいけないことはあるんですが、学生から教わることも多く、今でも付き合いが続いています。

(注) 定期総会では出席者から3分ほどの近況報告をいただきました。これはその話を要約したものです。

《 総会に寄せられた一言 》

(敬称略)

- 中西 悦子 (56 期) 腰、膝が痛み遠出ができませんが、近所の草、鳥の写真を撮って日々過ごして居ります。皆様に宜しく！！
- 関 紘一 (60 期) 体調が悪く欠席です。宜しく願い申し上げます。ご盛會を祈っております。
- 増田 武夫 (61 期) 体調をくずし今回は欠席させていただきます。
- 山岸 宏一 (61 期) 皆様には申し訳ございませんが用があり欠席いたします。
- 平等 志成 (62 期) 陸別町役場で地域活性化の仕事をして居ります。仕事の都合上、出席できませんので宜しくお願いします。
- 福田 安矩 (64 期) 5/18~22 日に高校同級會出席を兼ねて帰省する予定ですので、残念ですが今回は欠席します。皆様に宜しくお伝えください。
- 荒井 正彦 (68 期) 現在、中国長春の中国科学院長春応用化学研究所にて研究生活を続けております。
- 濱 豊 (82 期) 4 月より勤務地が変わり、それに伴い業務内容も変わってしまったので多忙を極めております。
- 松本 美生 (87 期) 愛犬キャリアの Qoo (くう) 3 歳オスに振り回されている毎日です。
- 白石 英才 (90 期) 常務理事 2 年目、多忙を極めており申し訳ありませんが欠席します。おかげさまで勤務先 (札幌学院大学) は前年度比 115% 超の入学者があり、V 字回復の途上です。
- 渡辺 由実 (90 期) 子どもがまだ小さい (4 歳) のでなかなか思うように出歩けません。
- 金井 貴生 (94 期) 函館に転居して 4 ヶ月。札幌とはまた違って北海道の良さを知る機会となっています。どれだけ居るか判りませんが満喫したいと思います。
- 小林 厚志 (95 期) 大学の教育・研究実験に追われる毎日です。総會等に出席できずに申し訳ありません。
- 櫻井 宏樹 (107 期) 昨年より東京に異動となりました。

◆皆さんこんにちは！！同窓生からの近況報告

残暑お見舞い申し上げます。

68期 荒井 正彦さん



私は2017年3月に北海道大学(工学部)を定年退職し、その後縁あって中国科学院長春応用化学研究所で研究生生活を続けています(左写真;9月10日は中国ではTeachers Day(教師の日)です。研究室の学生から花束と紙きり細工をもらいました。前列左:研究室のリーダーF. Zhao教授、右:本人、後列:研究室のスタッフと大学院生)。

旧満州国と所縁の深い長春市は、中国東北部吉林省の省都で人口700万人を超えています。近年の発展と変化は目覚しく、地下鉄の開通、自動車数の爆発的な増加、

キャッシュレス化...等を挙げる事が出来ます。キャッシュレス化はかなり徹底していて、デパート、スーパーマーケット、タクシー等の支払いは、スマホの二次元バーコードを示すだけで済みます。現金を扱わないので偽札の被害に遭うことはありません。殆どの方がスマホ(身分証明書)を持っているように思われます。スマホを使ったタクシーの手配アプリも便利です。現在位置と行き先を入力すると、それに応えて個人タクシーが来ます。車種はマチマチなので、運転手から伝えられた車種とプレートナンバーで確認します。料金はタクシー会社のものより幾分高いようですが、座席はきれいで、相乗りもありません。タクシーの絶対数が利用者数に比べて少ないため、初めは白タク(非合法)として始まったようですが、数年前から合法化され当局から運転者としての適正(事故や病気の有無等で判断)が認められれば許可されるようです。都市によって使用アプリが異なる場合もありますが、中国全土でこのタクシー手配サービスを使う事が出来ます。

長春応用化学研究所(応化研)は中国科学院傘下の研究所のひとつで、広く化学分野の研究を行っています(<http://www.ciac.ac.cn/>)。応化研は1948年創立で今年70周年を迎えます。中国各地の大学から優秀な学生を受け入れ、彼らは修士、博士学生として勉強、研究に励んでいます。私は緑色化学与过程実験室(Laboratory of Green Chemistry and Process)に所属して、二酸化炭素やバイオマスの有用物質への化学変換、不均一系触媒反応、多相系化学反応等の研究のお手伝いをしています。時には関連学会に出席したり他の研究所や大学を訪問することもあります。中国の研究者の話から、科学研究費は右肩上に増えていて、研究施設の刷新や増設、研究者の増員などが可能のようです(残念ながら日本の科学研究費は殆ど変化なく、大学の運営交付金の縮小等あまり良い話は聞きません)。この日本の隣国から科学技術に関する良い論文が益々数多く発表されるようになると推測されます。

ここ長春は季節による気温変動が大きく、真夏は35℃近くまで上り、真冬は-20℃近くまで下がります(私の経験)。現在(8月下旬)は25℃以下の気温で快適です。これから秋、冬と段々寒くなって行きますので、会員の皆様には体調に十分ご留意の上お過ごし下さい。

そのうちきっと役に立つ？

95 期 小林 厚志さん

私が北海道へ来たのは、2007年5月に北海道大学に助教として着任した時。今年で干支が一巡してしまうので、ずいぶん長い時間が流れたのだなあ実感しているこの頃です。1997年に上田高校卒業後に進学した筑波大学で化学を専攻し、卒業研究時の指導教官から絶大なる（?!）影響を受けながら、九州大学で博士号を取得して、いろいろな縁もあって北海道大学で教鞭を取ることになりました。大学時代に、教員免許取得直前まで履修しておきながら（教育実習は行きましたが、1単位足りずに）、免許を取得できなかった私が、北海道という北の地でまさか大学教員になるとは、世の中いろいろと不思議（?）なことが起こるものです。

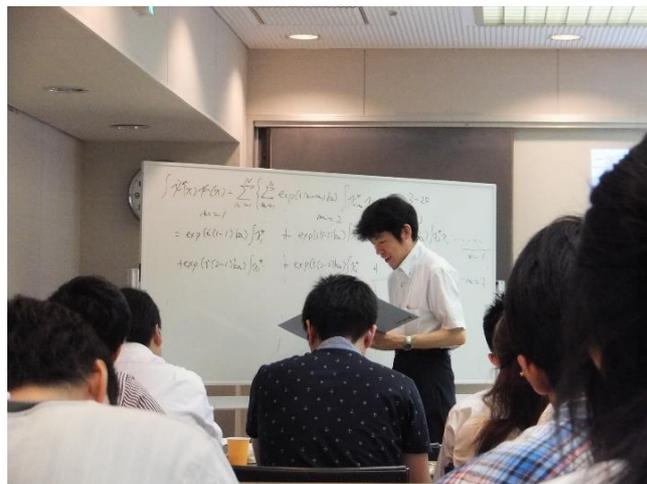


写真 講義中の小林先生

さて、私が専門としている「化学」というと、皆様はどのようなイメージを持っていますでしょうか？高校の化学は（私が高校時代のときは少なくとも）「暗記の化学」とも言われ、知識を詰め込む典型的な科目であったように思います。例えば、銅(II)イオンのきれいな青色（硫酸銅の青色結晶も同じです）は、テストを解く際の重要なヒントになりますが、「なぜ青色になるのか？」という根本的な問いに対する答えは、高校化学では教えてもらえません。これを理解するには、大学の化学で「量子力学に基づく電子の波動性と軌道」を習う必要があるのです。であれば、高校の化学でこれを扱えばいいのでは？と思われる方も多数いらっしゃるでしょうが、大学化学における最初でありながら最大のハードルとも言える「シュレーディンガーの波動方程式」を（高校生の段階で）理解する必要があり、それはそれで困難なわけです。やはり何事も習得するには、必ず順序というものがあるようです。

最近の大学生の考え方を、授業や卒業研究指導を通して見ていますと、「この授業（や研究）は何の（またはどのように）役に立つのか？」といったような、物事の順序を意識せずに（まだ正しく判断できる状況でないにもかかわらず）かなり短絡的な考え方を持つ人が多くなっているように思えます。例えば、高校生の立場で言い換えれば「私は化学専攻に進学するから、物理学や生物学は必要ない」といった感じでしょうか。確かに、高校のテスト（や大学入試）を解くだけなら、他の分野の知識はあまり必要ないかも知れません。けれども、その先で異なる分野と密接に関連している部分があるかも知れないのです。事実、先に述べた「シュレーディンガーの波動方程式」を理解するためには化学よりも物理学や数学の知識が重要であり、高校時代に物理学から逃げてしまった人にとっては、化学という異なる分野に来たにもかかわらず、再度大きなハードルとなって物理学が立ちはだかってしまうわけです。

物事を習得するためには必要な順序があり、その習得過程において必要な知識や技術は、必ずしも同じ業種や分野にあるとは限らない。だからこそ、いろいろな経験（学生なら授業や実験だけでなくバイトやボランティアなどの社会活動）を積むことが重要であり、その経験がいつか（間接的かもしれないけど）役に立つ日が必ず来ると信じて、何事にも真剣に取り組む姿勢が重要であろうと思います。とはいえ、学生の教育や研究には関係のなさそうな、いわゆる雑用とよばれる業務に対して、私のやる気もなかなか湧き上がってこないことも否定できない、今日このごろです。

会員による 誌上講演

今回も 51 期の平尾さんをお願いしました。平尾さんは長年、大学で教鞭をとってこられました。その経験を踏まえて今日の大学教育の問題点、あるべき姿を前号に引き続いて語っていただきました。

これでよいのか日本の大学教育（続）

51 期 平尾三郎 さん

（札幌大学名誉教授）

はじめに

上田高校北海道同窓会会報前号に、「これでよいのか日本の大学教育」という題名で寄稿したところ、思いがけない反響があり、特に尻切れトンボという適切な批判もあって、続きを書かせてもらいます。

前号では、専門教育に偏った日本の大学教育を疑問視し、教養教育の重要性を述べたつもりです。しかし、今日の学生の状況、すなわち「自分が誰で、誰になりたいか、誰になれるのか思い悩んでいる学生」に対して大学はその悩みについて考える場とならなければならないという、私の立論の出発点に偏って、肝心の具体的教養教育の内容についての私見を省いてしまいました。



1. 文部科学省の教養教育についての見解

最初に、日本の文部科学省は、大学における教養教育についてどのような見解を持っているかを紹介してみます。「新時代における高等教育機関の在り方」という文書の中で、教養教育については、次のように述べられています。学士課程については、教養教育や専門教育等の在り方を総合的に見直して再構築することが強く求められていると指摘したのち、「新たに構築されるべき教養教育は、学生に、国際化や科学技術の発展等社会の激しい変化に対応しうる統合された知の基盤を与えるものでなければならない。各大学は、理系・文系、人文・社会・自然といったかつての一般教育のような従来型の縦割りの学問分野による知識伝達型の教育や単なる入門教育ではなく、専門分野の枠を超えて共通に求められる知識や思考法等の知的な技法の獲得や、人間としての在り方や生き方に関する深い洞察、現実を正しく理解する力の涵養に努めることが期待される。」（アンダーラインは平尾）

素晴らしい表現です！前号で私が言いたかったことが見事に表現されています。しかし問題は具体的にどうするかです。前号の尻切れトンボという私への批判は、ここでも当てはまります。文部科学省も教養教育の具体的な目標その具体的な内容については明言していないのです。そのような難題に私が取り組もうというのですから無謀な話です。

2. 「知の統合化」は可能か

さて、教養教育の具体的な目標とその内容を考えようとすると実に多様な目標が頭に浮かんできます。多種多

様な個人、集団、社会、国家等それぞれの立場によって異なった目標が思い浮かぶので目標が多化するの
は当然です。ということは、数ある大学、そして数ある教員が異なった教養教育の目標を頭において、それにそ
った授業を行うことになってしまうのも当然ということになってしまいます。これでは、文部科学省が「かつ
ての一般教育のような従来型の縦割りの学問分野による知識伝達型の教育」と批判した授業と変わりなくなっ
てしまいます。文部科学省が言う「統合された知」を学生に与えるという教養教育の目標は消滅してしまいま
す。

そもそも私自身を顧みて「統合された知」を学生に教える力は持っていません。全国の大学についてみても、
極めて少数の教員を除いてほとんどの教員は同じだと思います。当然です。というのは、万人が認める完結し
た「統合された知」はありえないからです。激しく変動する社会の中で、つねに新たな「知」が現れそれを含
めて新たな「統合された知」に組み替えなければならないからです。

3. 統合された知の「基盤」を

では、誰が組み替えるのでしょうか。教員が組み替えて学生に与えるのでしょうか。ここで白状しますが、
前述の文部科学省の教養教育のあるべき姿についての意見のどこにも「統合された知」を学生に与えるとは言
っていません。「統合された知の基盤」を与えるのが教養教育の目標と言っているのです。つまり「統合された
知の基盤」を与えて、学生がその基盤に依拠してみずから知の統合を行う力を身につけさせることの重要性を
説いているのです。ではその基盤はどのようなもののでしょうか。それは極めて多岐にわたるので、大きく四つ
に分類し、それをさらに五つに細分してみます。

4. 基盤についての四つの柱

第一の柱

社会、自然、人間に関する広い知識（社会常識、文化常識）の修得、およびコミュニケーション能力の強化

- ① 国際人としての常識的知識
- ② 日本人としての常識的知識
- ③ 日本語能力
- ④ 外国語能力
- ⑤ 知的好奇心

（付言）この原稿を書いているときに、テレビで全国の大学の50人の学生に対してクイズを出して答えさ
せる番組を放映していて、そのなかで信じられない回答をした学生が数人いました。「自動車はガソリンで動
くが電車は何で動くか」という質問に対して、「機関車で動く」と。あきれると同時に、日本とアメリカが戦
ったことを知らない大学生がいて驚いたことがあったことを思い出してしまいました。かつての一般教育の
「知識伝達」型の教育にとどまっていたはだめですが、常識的知識をもたない学生が「知の統合」を行うこ
となどできるはずがありません。しかし、なぜ常識的知識をもっていないのでしょうか。常識外れになっ
たのはそれなりの理由があるはずです。

そこで⑤の知的好奇心の重要性が浮かび上がってきます。生まれたばかりの赤ん坊は、間もなく「なに」、
「どうして」という質問を連発して、物心をつけていきます。その過程はある習得した知識が次の疑問を生
むという連鎖的なものです。その連鎖が続けばやがて知的好奇心という言葉にふさわしくなり、さらにそれ
はますます旺盛になっていくでしょう。問題はその連鎖が断ち切られることです。子供の疑問に適切に対応

しない、対応できない親に原因を求めることもできますが、さまざまな受験にしか役に立たない知識伝達型の教育を強いられていることに最大の原因があると思われてなりません。教養教育の内容・方法の第一は、知的好奇心を呼び覚ますことにあり、それは専門教育の中でも心していなければならないことであろうと思います。

第二の柱

今日の学生を取りまく世界的課題と、その解決のために学問研究の果たす役割の理解

- ① 社会にかかわる課題
- ② 自然にかかわる課題
- ③ 人間にかかわる課題
- ④ 学問及びその諸分野が課題解決に果たす役割
- ⑤ 論理的探究心、自主的判断力

(付言) 今日の学生にとって未来は明るいとは言えません。日本だけとってみても少子高齢化社会、地球温暖化などによる自然環境の破壊、平和を守るための安全保障などなど、極めて重要な、にもかかわらず解決困難な課題を抱えているからです。そしてこれらの課題を認識せず、あるいは真正面から考えることを避けている学生がほとんどではないでしょうか。これらの学生に課題提起をするのが教養教育の重要な目標であると思います。具体的には教員のそれぞれが、自分自身がなぜ専門研究を選ぶに至ったのか、どういう課題解決にどう取り組んでいるかを語ることだと思います。専門教育もそこから始めるべきで、したがって全教員が教養教育に携わることになります。④で言いたかったのはそれです。

⑤は④を通じて学生が自分自身の論理的探究心を深め、課題解決のための自主的判断力を持つことを期待してのものです。

第三の柱

学問を課題解決のために応用する能力、自主的な価値判断と態度決定能力の修得

- ① 諸学問の課題解決への応用
- ② 諸学問相互間の有機的連関の理解
- ③ 社会、自然、人間に関する統合的な認識、総合的判断力
- ④ 直面する諸課題解決への実践方法
- ⑤ 諸課題解決への能動的態度

(付言) 「第二の柱」によって自覚した学生たちが直面している課題解決に向かって、より諸学問を応用的に考えることを意識するようになると、②の他の学問分野との連関の必要性に思い至ります。こうして③を身に着けるようになる、少なくともそれを目指すようにしたいと思います。後はそれぞれの学生自身がどう実践するかです。この夢のような過程を保証するのは、自分ではできっこないとしりごみするのでなく、やってみようという積極的能動的態度です。このような過程は学生の態度だけでなく、まず全ての教員自身が示すべきです。

第四の柱

自分がどういう人間なのか、どういう人生を送りたいのかの自覚

- ① 芸術、スポーツ、ボランティア活動など人類が発明し、発展させてきた文化への興味、関心、参加
- ② 同好の仲間作り、仲間同士の協力、研鑽
- ③ これらを課外活動ととらえる大学教員、理事者の誤り
- ④ 教科科目と自主科目
- ⑤ 学生の自主的活動こそが教養教育の際重要な目標

(付言) 自分がどういう人生を送りたいかを考えるとき、①をぬきにするわけにはいきません。そしてほとんどの場合②を必要とします。学生の場合、大学にそれらを求めます。突然ですが最近 N 大学のある運動部における暴行事件が大きな話題となりました。そのなかでもっとも注目されたのは、暴行を指示したとされる監督、コーチの責任でした。不思議なのは大学の理事長をはじめとする役員、学長をトップとする教員組織がほとんど他人事のような態度しかとらなかったことでした。いわゆる「部活」は学生の自主的活動で、大学にとっては課「外」活動でしかないから、何が起ころうと役員、教員は無関係だという意識がそうさせたのでしょ。一番たちが悪いのは、特にスポーツで全国的に注目するような戦績をあげる部は、大学の広告塔として有用であるから経費、学費や卒業単位などの面で甘くしてもよいという意識です。そのほか、大学祭にしても学生が楽しむためにやっているのだから教員はかかわらなくてもよい、自宅で休むことができてよかった、ひどい教員はうるさくて研究の妨げだと文句を言いに行っただというありさまです。

学生も大学の構成員であり、学生の自主的、積極的な活動が大学を活性化させ、学生たちそれぞれが自分の将来の生き方を考える、あるいは決める重要な場であるという認識のもと、学生と並んで大学の構成員である教職員、役員が、学生の多面的、自主的活動を支える体制を作ることが必要であると思います。これまでの大学は教員による一方通行的な教科科目を設置すればよいと考えられてきました。しかし、大学における教養教育は「学生の、学生による、学生のための、自主科目とでも名付けられる科目」をカリキュラムの中に適切に組み込むことによって一層充実するというのは暴論でしょうか。暴論と片づけしないで、冒険を試みてはどうでしょうか。

こうして学生の潜在能力、可能性を掘り起し、伸ばして自己実現を図る教育、個性ある「誰か」として自信をもって生きてゆくことができる人間を育てる教育の場に、大学が変わることを心から期待して拙文を終わります。

(了)

○同窓会本部通信

30 年度定時総会

5 月 26 日 (土) に、定時総会が開催されました。

平成 29 年度の事業の報告・決算の承認、新役員として理事 20 名・監事 5 名の選任が決議されました。

また、29 年度公益目的支出計画実施報告、30 年度の事業計画・予算について説明・報告がなされました。

今年から年会費を納入される方の利便性を高めるためと財政基盤を拡充するために、コンビニ収納を開始しました。

信州総文祭

8月7日～11日の5日間、全国高等学校総合文化祭（今年は長野県下で開催され『信州総文祭』と銘打つ）が開催されました。この文化祭は文化系の部のインターハイと言われるもので全国から選りすぐりの学校が出場します。

松本市で総合開会式・パレードが行われ、県内各地の会場で規程部門 演劇、合唱、吹奏楽など19部門、協賛部門 特別支援学校、ボランティアなど28部門の発表会・コンクールが行われました。上田のサントミュージアムを主会場として演劇、美術・工芸が行われ、上田高校同窓会館も演劇班の練習会場として使われ、それはそれは熱のこもった練習が連日行われました。

同窓会報「古城の門 52号」

8月1日付けで発行され、皆様のもとへお送りしました。

生徒のボランティア活動の記事「上田高校カンボジア井戸プロジェクト」は地元新聞でも取り上げられたりもしたのですが、SGHの学習の中から生まれたものでこれからも息の長い活動として同窓会でも支援していきたいと思っています。

また、「電子黒板は新しい授業スタイル」の記事は普段の授業を見る機会のない「黒板とチョーク」というイメージしかない我々にとって授業のIT化などを知るきっかけになるものでした。

※この「同窓会本部通信」は毎号、上田の同窓会本部の清水事務局長に寄稿をお願いしています。

○編集後記

今夏は、6-8月の天候不順により、大学でも家でも野菜の生育が悪いと思っていた矢先の9月に台風そして地震と続けての自然災害に見舞われました。私が勤務する大学では150本近い倒木がありました。また、厚真町の地滑りの現場映像には地震の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。地震による停電で麻痺した生活基盤から如何に我々の生活が電気に依存しているかを思い知らされました。今回の台風、地震で被害にあわれた方々に心からお見舞いを申し上げるとともに災害からの復興を祈念致します。皆様の協力により、上田高校北海道同窓会の会報第7号が出来あがりましてお届けします。今回もかなり盛りだくさんの内容です（73期北澤多喜雄）。

《 年会費納入のご案内 》

以下の方法により年会費 1,000 円を納入願います。(前納されている方を除き、学生および満 80 歳以上の方は免除)

(1) 現金書留により、同窓会事務局 (〒067-0027 江別市豊幌美咲町 34-8 北澤多喜雄) 宛に郵送する。

(2) 同窓会口座に振り込む。

① ゆうちょ銀行 (郵便局) から

ゆうちょ銀行から会費を振り込む場合は、窓口ないし ATM から次の記号等を記入 (入力) して振り込んでください。

・記号 19060

・口座番号 52001671

・口座名 ウエダコウトウガッコウホッカイドウドウソウカイ

② ゆうちょ銀行以外から

ゆうちょ銀行以外の一般銀行や農協などから振り込む場合は、金融機関によって書式は様々ですが、「振込依頼書 (ないしそれに相当する画面)」に以下のようなデータを記載 (ないし入力) して振込を行ってください。

・振込先 ゆうちょ銀行

・店名 九〇八 (店番 908)

・預金種目 普通預金

・口座番号 5200167

・口座名 ウエダコウトウガッコウホッカイドウドウソウカイ

※納入にあたっては次の事にご留意ください。

郵送料・振込手数料は振込者が負担願います。3~5 年分の前納も可能です (事務局で管理します)。ゆうちょ口座をお持ちの方は、その口座から ATM で振り込む と手数料が掛からない場合があります。